



「美やび」 深谷太貴 ルリエフォトスタジオ（愛知）

■選評

可愛らしい女の子の七五三写真ですが、アートの表現に振り切っている点とバランス感覚を評価しました。ママたちは「こんな写真を求めているんじゃないか」と思わせる、今どきのセンスを画面に取り入れた1枚です。営業写真では、女の子の笑顔を撮るのは当然として、髪の毛や髪飾り、着物、小物なども全て画面に入れるもの、という認識だと思います。しかし、髪の毛までバツサリとトリミングし、だからこそ訴えかけるような目力を宿した画面が生み出されたのでしょう。ただ、ちょっと光が回り過ぎて、色々なものが見えてしまった画面に少しもったいなさを感じました。今後もスタイリッシュで思い切った表現で営業写真に新たな風を吹かせてほしい、期待の作家です。

■喜びの声

富士フイルム営業写真コンテストにて、新人賞を受賞できたことを本当に嬉しく思います。いつも来てくださるお客様、支えてくれている家族、僕に写真のことを教えてくれた師匠、周りの皆さんがいてくれたからこそ、受賞できたものだと思います。

今回応募させていただきました七五三の写真「美やび」は、2024年11月に独立して、オープンしたスタジオになります。スタジオの光や背景のセットを手作りするなど大変なことも多くありましたが、何よりお客様に喜んでいただけること、笑顔を見られることが本当に嬉しく、完成できたことが良かったと思っています。

当スタジオでは、「最高のおもてなしと高いクオリティの維持、リピートしたくなるお店作り」という意識を常に持ち、「お客様の歴史をつなぎ、写真を通して全ての人へ未来を描く」ことを目標に今後も頑張っていきたいと思っています。

（制作ラボ：㈱ラボネットワーク）



新人賞



「金欠花嫁」 中西宏輔 Photo Studio Aim（愛知）

■選評

コンビニのATM前で花嫁を撮影し、「金欠花嫁」というストーリーを組み上げ、コミカルで新鮮なセンスが評価された婚礼写真です。外の風景が飛んでいて、場所は特定できないけれども「コンビニだ」ということがはっきりわかる点が良かったです。さらに、床面の鏡効果によって単純なスナップ写真に見せないようにした手法も、この写真の作品性に一役買っています。そして「そうだね、結婚式ってお金がかかるよね。祝儀もらうまで頑張れ！」なんて、見る者から同情や共感さえ引き出すストーリー性のある絵作りに、この作家の類まれなる創造力を感じました。今後、どんな驚きや面白さを持った写真を見せてくれるのか、業界を刺激してくれるのか楽しみです。

■喜びの声

このたびは、歴史ある富士フィルム営業写真コンテストにおきまして入賞の栄にあずかり、誠に光栄に存じます。

自身にとりまして初めての写真コンテストで、このようなご評価をいただけるとは夢のようで、感謝の気持ちでいっぱいです。また、結婚式の撮影をお任せくださった新郎新婦様、審査にあたっていただきました先生方、そして毎年このような素晴らしいコンテストを開催してくださっている富士フィルム様に感謝申し上げます。

今回入賞いたしました作品「金欠花嫁」は、ロケ撮影後に「アイスを食べたいね」と車内で話し、帰り道のコンビニに立ち寄った際に偶然撮影できた一枚でございます。撮影後の何気ない姿も思い出になればなとカメラを手にご一緒したところ、新婦様がATMでお金をおろされている。瞬間的に面白いと感じシャッターを切りました。

通常の撮影では構図や光の位置を意識いたしますが、スナップ感覚で捉えた写真にもまた魅力があるのだと、改めて気づかされました。

今後もお客様にご満足いただける撮影を目指し、より一層精進してまいります。このたびは誠にありがとうございました。





「絆」 小坂龍人 (株)ワイケープロデュース (京都)

■選評

マタニティママをお父さんと息子が囲む、笑顔に満ちた家族写真です。マタニティ写真でもあるとわかる撮り方と、窓から入ってくる自然光とうっすら見える背景がリアリティを感じさせる点が素晴らしいと思いました。また、お子さんがお父さんの膝の上にのり、ちょっと不安定だからお父さんの手につかまっているという動きも、「絆」というテーマを想起させる憎い演出だと感じました。画面のバランスも良く、「こういうパターンのマタニティ写真もありだな」と、写真館のカメラマンに刺激を与えてくれる絵作りです。一つ気になったのは全体的に画面が少し暗く見えること。画面構成が上手な作家なので、技術を磨いた先に、どんな表現を生み出してくれるのか楽しみです。

■喜びの声

このたび、栄えある賞にお選びいただき、心より感謝申し上げます。
日々の暮らしの中で培ってきた家族の絆や空気感が、写真という形で評価されたことに、心より喜びを感じております。この結果は、撮影にご協力いただいたご家族皆様のおかげであり、そしてこの機会を私に与えてくれたことへも深く感謝申し上げます。
本作品では、家族の自然な表情と穏やかな空気感を表現した家族写真を目指しました。お母さんのお腹の中に宿る新しい命も際立たせたいと最初は思いましたが、色々計算することでかえってよこしまな考えが入り良い表現ができないという思いも感じ、あまりポーズや指示を具体的にはせず、ありのままの姿を

まずは尊重しました。自然な雰囲気やご家族の個性を損なわぬよう、たくさん話をしながら意識的に自然な空気感を作り出しました。
今回の受賞を励みに、これからは家族や人の普通の日常がかけがえない瞬間へとつながるような写真を残せるよう尽力していきたいと思います。

(制作ラボ: (株)プロカラーラボ 九州ラボ)





「双子ちゃんのチューと笑顔のおじいちゃん」 佐々木唯花 (株)デコルテ ハピスタ堀江公園店 (大阪)

■選評

双子のお孫ちゃんに両頬にチューされて、はにかみながらもおじいちゃんの嬉しさがストレートに伝わってくる七五三写真です。双子だからこそのシンメトリーの面白さを見つけ、その画面構成にトライして、しっかり作品に仕上げたカメラマンの着眼点と努力を高く評価しました。絵作りのセンスもかなりのものと感じています。画面の白さが少し気になりましたが、ストレートな表現をする上ではこのぐらいで良いのかもしれません。欲を言えば、画角をもう少し熟考してほしかったですね。トリミング次第ではさらに上位を狙えた作品だと思いました。優れた着眼点で「今後どんなオリジナリティに満ちた作品を見せてくれるのだろう」と期待を膨らませてくれる作家です。

■喜びの声

このたびは「2025 富士フィルム営業写真コンテスト」新人賞をいただくことができたこと、心より感謝申し上げます。

当日、先輩と呼ばれ「私何かミスしたかな…」とソワソワしながらスタジオに入ると、他のスタッフの方々が登場し、「おめでとう」と言ってくださいました。呆然としていた私に先輩が受賞の封筒を渡してくれたときは驚きと喜びでいっぱいでした。

私はこの仕事に就いてまだ2年目です。それまではカメラを触ったことがなく、携帯で風景や被写体の写真を撮っていました。初めてカメラを持ったとき、機能の豊富さや使い方に戸惑い、0から覚えるのに苦勞し、またお子さんの誘導も同時に行わなければならない。悩んで挫折することが多々あり、この仕事は私に向いていないのではないかと考えることもありましたが、こんな至らない点ばかりの私に対し、先輩方は的確なアドバイスをくださったり、困っているときには手を差し伸べて助けてくださったり、時には私の失敗をフォローしてくださったりと、常に支えられていたのだと感じました。皆様のご配慮とご支援のおかげで少しずつではありますが、成長を実感しており

ます。この感謝を忘れずに、皆様のお役に立てるよう、これからも精一杯努力してまいります。

今回の受賞を同時に喜んでくれたのは家族でした。新人賞ということを知らせたのは母で、父は受賞した写真を見せるとグッとくるものがあると褒めてくれました。一緒に喜んでお祝いしてくれるのは、本当に嬉しいものだと感じました。1年前の私に「自分が撮った写真が受賞したよ、諦めずに頑張ったね。」と伝えたいです。

(制作ラボ：㈱ラボネットワーク)





「俺達ずっと仲間だぜっ★」

小川夏穂子 (株)デコルテ ハピスタ江坂店 (大阪)

■選評

真っ青な空のような背景の前で、5人の子供が楽しそうにおしゃべりし、笑い合っているスクールフォトです。青い色はパステル画のような色彩で、子供たちの姿を浮き上がらせており、青い空には羽を広げて飛ぶ鳥たちが描かれているため、インドアでありながらアウトドアっぽさも表現されているような、何とも不思議な魅力を持つ作品です。ワイワイと遠足を楽しんでいるような子供たちの賑やかさや動きも、画面からしっかり伝わってくる点が高評価となりました。ただ、子供の肌の質感が飛んでしまっているところが残念ポイント。「子供の顔には最低限の修正のみ」という思い切りを持つと、もっと表情豊かな秀作を生み出せる作家だと思い、今後大いに期待しています。

■喜びの声

このたびは、名誉ある富士フィルム営業写真コンテストにおいて新人賞をいただき、誠にありがとうございます。まさか自分の作品が選ばれるとは思っておらず、受賞のご連絡をいただいたときは驚きと喜びで胸がいっぱいでした。

今回受賞した作品は、卒園を迎えそれぞれ別々の小学校へ進む仲良し5人組を撮影したものです。5人だけで自然と笑いが起こるような楽しい空気感や、彼らの関係性を取りこぼさず形に残したいという思いで撮影に臨みました。

男の子が5人そろうととにかく元気で、走り回ったり大笑いしたり、そんな姿に私もすっかり引き込まれしみながらシャッターを切りました。そうした時間の中で自然な表情を残せたのではないかと思います。

この写真を撮る際、「5年後、10年後も、同じようにこのメンバーで肩を組み、成長した姿を写真に残していつくれば」という思いを込めました。これからそれぞれの道を歩んでいく中で、この一枚を見返したときに、当時の空気や笑い声が温かく蘇ってくるような、そんな写真になれば嬉しいです。

改めて、本来ならご家族だけが立ち会うような特別な時間に、カメラマンとして一緒にできること、その瞬間を残すことができるこの仕事に喜びを感じております。

また、日頃から支えてくれる家族や仲間、そして温かく導いてくださる先輩方にも、心より感謝申し上げます。

今回の受賞を励みに、これからお客様に喜んでいただける写真を届けられるよう、精一杯努めてまいります。

本当にありがとうございました。

(制作ラボ：㈱ラボネットワーク)

